

【基本的な考え方】

「第19回大阪府新型コロナウイルス感染症対策協議会資料（R4.3.22）抜粋

- ① さらなる感染拡大を想定し、保健所が担う業務・府による一元的調整を、重点化・効率化
- ② 大規模な患者発生を想定し、より幅広い医療機関にコロナ対応を要請
- ③ ハイリスク者と高齢者施設に対する医療・療養体制を強化

方針1 陽性者に対する、保健所を介さない健康観察・初期治療体制の確保と、保健所業務のさらなる効率化

- 【取組1】診療・検査医療機関等における陽性者対応（ファーストタッチ・健康観察・初期治療）の推進、診療・検査医療機関の公表・治療の実施等
- 【取組2】「新型コロナ関係事務処理センター」の設置
- 【取組3】配食サービス提供にかかる申請受付・配送手続きのワンストップ化
- 【取組4】「パルス配送ステーション」（仮称）の設置

方針2 高齢者施設に対する往診・支援体制の確保と、高齢者の療養フロー（かかりつけ医⇒入院⇒転退院）の確立・徹底

- 【取組5】「高齢者施設等クラスター重点往診チーム」「大阪府高齢者施設等クラスター対応強化チーム(OCRT)」に加え、「高齢者施設等の往診専用ダイヤル」を設置
- 【取組6】高齢者施設における新型コロナウイルス感染症治療体制の協力金
- 【取組7】自宅、施設における外来・往診等の治療、症状悪化時の入院調整から治療後は速やかに転退院できる体制を整備

方針3 非コロナ医療機関も含めた“オール医療”の体制構築

- 【取組8】新型コロナ入院患者受入体制の強化
- 【取組9】透析患者・妊産婦・小児の療養フローの確立・徹底、外来への感染対策設備整備補助

方針4 圏域単位・病病連携・病診連携に軸足を置いた入院調整

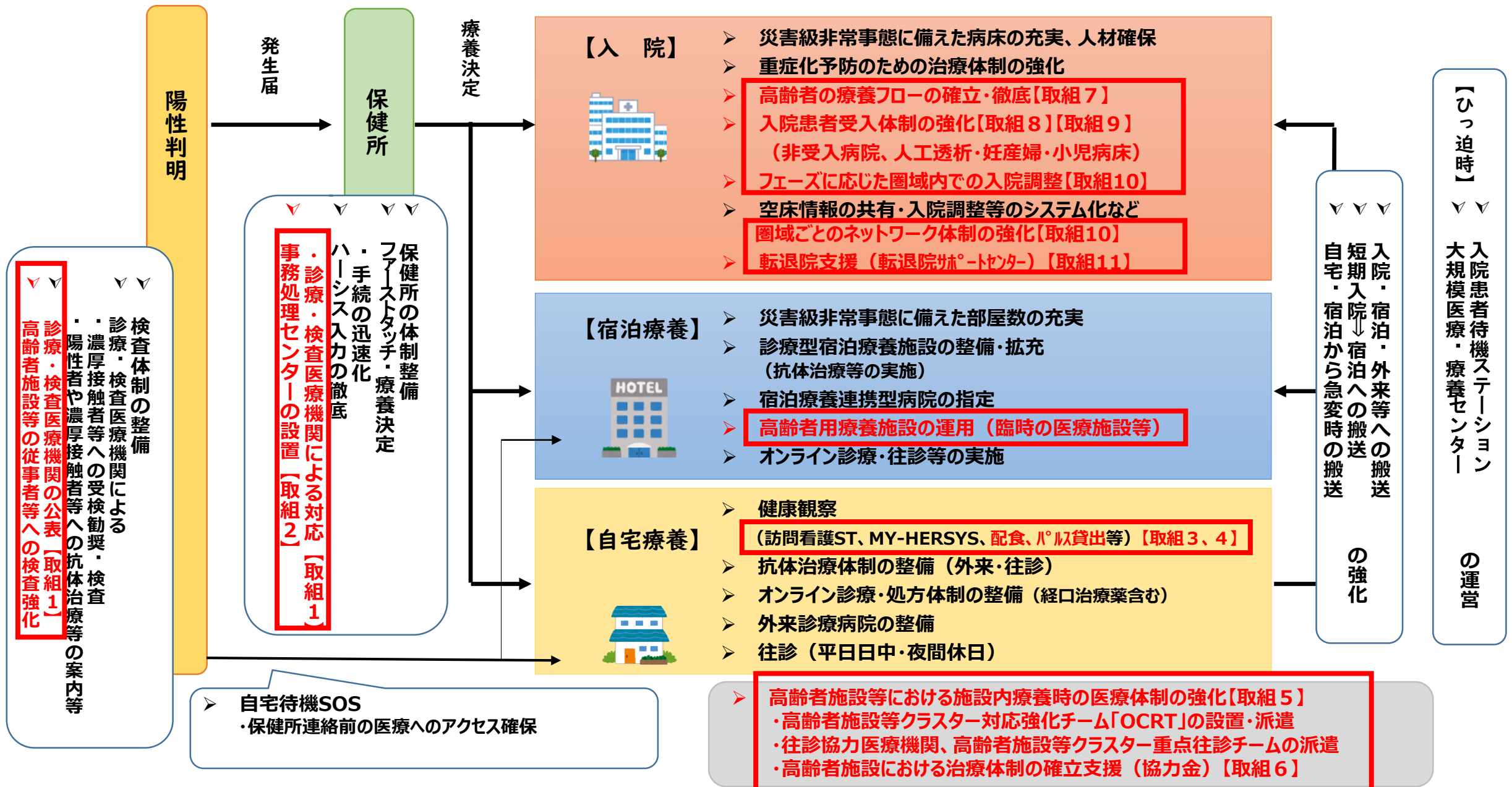
- 【取組10】フェーズに応じた圏域内での入院調整、入院調整システムによる調整・見える化の推進など

方針5 転退院の促進

- 【取組11】受入医療機関に対する長期入院患者の転退院のさらなる促進、後方支援病院における転退院患者の確実な受入れ

大阪府における今後の感染拡大に備えた対応

「新型コロナウイルス感染症にかかる大阪府保健・医療提供体制確保計画」(R3.11.25) に第7波に向けた取組み追加



第七波に向けた保健所業務の重点化、医療・療養体制の強化の主な取組状況

(時点は特に記載がなければ4月20日時点)

●方針1 陽性者に対する、保健所を介さない健康観察・初期治療体制の確保と、保健所業務のさらなる効率化

項目	取組状況	実施時期																
<p>【取組1】</p> <p>○診療・検査医療機関等における陽性者対応（ファーストタッチ・健康観察・初期治療）の推進</p> <p>○診療・検査医療機関の公表・治療の実施等</p>	<p>【診療・検査医療機関等における陽性者対応（ファーストタッチ・健康観察・初期治療）の推進】</p> <p>○健康観察等の委託開始 健康観察等を行う診療・検査医療機関等：424件（4/20時点）</p> <p>○医療機関による発生届のHER-SYS入力促進：【資料4-2】のとおり</p> <hr/> <p>【診療・検査医療機関の公表・治療の実施等】</p> <p>○診療・検査医療機関の公表：2,372医療機関（4/19時点）</p> <p>○診療・検査医療機関のうち、自宅療養者等への診療を行う医療機関：</p> <table border="1" data-bbox="672 615 1393 958"> <thead> <tr> <th></th> <th>4/20時点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①コロナ診療実施医療機関</td> <td>641</td> </tr> <tr> <td>②抗体治療医療機関（外来）</td> <td>193</td> </tr> <tr> <td>③往診医療機関</td> <td>170</td> </tr> <tr> <td>④オンライン診療機関</td> <td>232</td> </tr> <tr> <td>⑤経口治療薬の処方</td> <td>446</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">（医療機関数 ※重複該当あり）</p> <p>○自宅療養者への診療を行う医療機関として、自宅療養者支援サイトに掲載している医療機関：</p> <table border="1" data-bbox="672 1053 1668 1208"> <thead> <tr> <th>1/17時点</th> <th>4/20時点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>310医療機関 （82病院、228診療所）</td> <td>797医療機関 （122病院、675診療所）</td> </tr> </tbody> </table>		4/20時点	①コロナ診療実施医療機関	641	②抗体治療医療機関（外来）	193	③往診医療機関	170	④オンライン診療機関	232	⑤経口治療薬の処方	446	1/17時点	4/20時点	310医療機関 （82病院、228診療所）	797医療機関 （122病院、675診療所）	<p>○4月1日～委託開始</p> <hr/> <p>○3月14日に全公表</p> <p>○従来より実施</p> <hr/> <p>○従来より実施</p>
	4/20時点																	
①コロナ診療実施医療機関	641																	
②抗体治療医療機関（外来）	193																	
③往診医療機関	170																	
④オンライン診療機関	232																	
⑤経口治療薬の処方	446																	
1/17時点	4/20時点																	
310医療機関 （82病院、228診療所）	797医療機関 （122病院、675診療所）																	
<p>【取組2】</p> <p>「新型コロナ関係事務処理センター」の設置</p>	<p>○府管轄保健所に、事務処理センターを設置 ※政令中核市にはセンター設置のスキームを共有（事務処理センター業務）</p> <p>①入院勧告書など証明書等発行業務 ②65歳以下のSMS送信業務 ③HER-SYS（発生届代行）入力 ④各種問い合わせ等の電話対応業務</p>	<p>○3月22日に府管保健所に設置</p>																

第七波に向けた保健所業務の重点化、医療・療養体制の強化の主な取組状況

●方針2 高齢者施設に対する往診・支援体制の確保と、高齢者の療養フロー（かかりつけ医⇒入院⇒転退院）の確立・徹底

項目	取組状況	実施時期				
【取組3】 配食サービス提供にかかる申請受付・ 配送手続きのワンストップ化	○「配食・パルスセンター」を設置し、府管轄保健所の手続きをワンストップ化（政令中核市は順次調整）	○4月14日に 設置				
【取組4】 「パルス配送ステーション」（仮称）の 設置						
【取組5】 「高齢者施設等クラスター重点往診チ ーム」「大阪府高齢者施設等クラスター対 応強化チーム（OCRT）」に加え、「高 齢者施設等の往診専用ダイヤル」を設 置	○「高齢者施設等往診専用ダイヤル」を設置	○3月25日に 設置				
	○重点往診チーム：8圏域14チーム					
	○重症化予防協力金により、往診協力医療機関数を拡充					
	<table border="1"> <tr> <td>1/28時点</td> <td>4/15時点</td> </tr> <tr> <td>28医療機関</td> <td>114医療機関</td> </tr> </table>	1/28時点	4/15時点	28医療機関	114医療機関	○2月9日に重症化 予防協力金制度 運用開始
1/28時点	4/15時点					
28医療機関	114医療機関					
	○大阪府高齢者施設等クラスター対応強化チーム（OCRT）の設置 往診支援7件、感染対策助言68件（うち電話対応2件）（2/18～4/20時点）	○2月18日に設置				
	○医療機関等に対する治療法等に関する研修の実施（令和4年3月30日、4月5日）					
	○府内全ての入所系・居住系の高齢者施設等（政令市・中核市含む）の従事者等を対象に、抗原定性検査 キットによる頻回な検査を実施（3日に1回）	○4月15日受付 開始				
【取組6】 高齢者施設における新型コロナウイルス 感染症治療体制の協力金	○治療体制確立協力金：高齢者施設への往診又はオンライン診療を実施する協力機関に対して協力金を支給 ○重症化予防協力金：協力医療機関が確保できない高齢者施設等への往診による抗体治療等を実施する 医療機関に対して協力金を支給	○治療体制確立協力 金は3月14日に、 重症化予防協力金 は2月9日開始				
【取組7】 新型コロナの高齢者（自宅・施設）の 療養フローの確立・徹底	○自宅の高齢者：かかりつけ医（外来）もしくは往診医（在宅医療）が初期治療を実施 （参考）診療所等における診療・往診等の対応 ・自宅療養等診療報酬件数 令和3年6月～令和3年12月（第五波） 約26,000件 ⇒令和4年1月～2月（第六波） 約210,000件	○従来より実施				
	○施設の高齢者：協力医療機関や往診医（施設往診）が初期治療を実施					

第七波に向けた保健所業務の重点化、医療・療養体制の強化の主な取組状況

●方針3 非コロナ医療機関も含めた“オール医療”の体制構築

項目	取組状況	実施時期																			
【取組8】 新型コロナ入院患者受入体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナ患者非受入病院連絡会議（4月5日）の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・自院患者陽性判明時に自院にてコロナ治療実施（中等症Iまで）を要請 ・地域の中核的な医療機関を中心とした支援ネットワーク体制の構築支援や治療薬の登録推進 ○コロナ患者受入病床の増床状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">重症</th> <th colspan="2">軽症中等症</th> </tr> <tr> <th>3/18時点</th> <th>4/20時点</th> <th>3/18時点</th> <th>4/20時点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人工透析</td> <td>45</td> <td>52 (+7)</td> <td>84</td> <td>117(+33)</td> </tr> <tr> <td>妊産婦（分娩対応可）</td> <td>11</td> <td>14 (+3)</td> <td>26</td> <td>36(+10)</td> </tr> </tbody> </table>		重症		軽症中等症		3/18時点	4/20時点	3/18時点	4/20時点	人工透析	45	52 (+7)	84	117(+33)	妊産婦（分娩対応可）	11	14 (+3)	26	36(+10)	<ul style="list-style-type: none"> ○4月5日以降順次働きかけ ○3月18日付け要請
	重症		軽症中等症																		
	3/18時点	4/20時点	3/18時点	4/20時点																	
人工透析	45	52 (+7)	84	117(+33)																	
妊産婦（分娩対応可）	11	14 (+3)	26	36(+10)																	
【取組9】 透析患者・妊産婦・小児の療養フローの確立・徹底、外来への感染対策設備整備補助	<ul style="list-style-type: none"> ○透析患者・妊産婦・小児の入院調整：大阪府入院フォローアップセンターによる府域全域で実施 ○療養：新型コロナ患者非受入病院を含めた外来診療における受入体制整備 ○新型コロナ患者非受入病院連絡会議（4月5日）の開催（再掲） 	○従来より実施																			

●方針4 圏域単位・病病連携・病診連携に軸足を置いた入院調整

【取組10】 フェーズに応じた圏域内での入院調整、入院調整システムによる調整・見える化の推進など	<ul style="list-style-type: none"> ○圏域調整枠を新設し、フェーズに応じた圏域内での入院調整を実施 ○O-CIS(大阪府、保健所や受入医療機関等が患者情報と病床運用状況を共有するためのシステム)を改修し、入院調整を促進 	○4月20日より開始
---	--	------------

●方針5 転退院の促進

【取組11】 受入医療機関に対する長期入院患者の転退院のさらなる促進、後方支援病院における転退院患者の確実な受入れ	<ul style="list-style-type: none"> ○長期入院患者の定期的な状況把握（週1回）や退院基準を超過した患者の陰性確認等による転退院の推進 ○入院患者に対する退院隔離解除基準の周知や高齢者施設等からの入院患者の退院ルール化 	○従来より実施
--	---	---------